



平成 23 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社 SmartEbook.com  
代 表 者 名 代表取締役 安嶋 幸直  
(JASDAQ・コード 2330)

問 合 せ 先 取締役財務部長 飯田 潔  
電 話 0 9 2 - 2 6 3 - 5 9 1 1

### 平成23年12月期 第3四半期連結業績と前年同期実績との差異に関するお知らせ

当社は、平成23年12月期第3四半期（平成23年1月1日～平成23年9月30日）の当社連結業績につきまして、前年同期（平成22年1月1日～平成22年9月30日）の実績値に対して、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

#### 1. 平成 23 年 12 月 期 第 3 四 半 期 連 結 業 績 と 前 年 実 績 と の 差 異

(単位：百万円)

|                         | 売上高    | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 | 1株当たり四半期純利益    |
|-------------------------|--------|------|------|--------|----------------|
| 前期（平成22年12月期第3四半期）実績(A) | 3,500  | △648 | △659 | △872   | 円 銭<br>△393.40 |
| 当期（平成23年12月期第3四半期）実績(B) | 948    | △808 | △804 | △1,099 | △499.68        |
| 増減額 (B-A)               | △2,551 | △160 | △145 | △227   | —              |
| 増減率 (%)                 | △72.9  |      |      |        | —              |

#### 2. 差異が生じた理由

当社は、B2C向けコンテンツビジネスから、成長市場導入期にあるスマートフォン e-books 市場での B2B ビジネスへ移行し、当第 3 四半期におきましては、主に海外キャリアへ向けた、ビューア、プラットフォームのソリューション提供に特化して参りました。しかしながら、大手キャリアへのプラットフォーム提供ビジネスにおいて、導入段階であることから、当第 3 四半期として、売上、利益には寄与せず減収・減益となりました。この結果、当第 3 四半期として、売上、利益には寄与せず減収・減益となりました。この結果、当第 3 四半期連結累計期間における業績は、売上高 948,994 千円（前年同四半期比 72.9%減）、営業損失 808,914 千円（前年同四半期は 648,593 千円の営業損失）、経常損失 804,755 千円（前年同四半期は 659,326 千円の経常損失）、当四半期純損失 1,099,753 千円（前年同四半期は 872,166 千円の四半期純損失）となりました。

以上